

香川県西部にある観音寺市大野原町には、日本のコンクリート技術がまだ黎明期だった昭和5年に竣工した日本で初めてのマルチプルアーチダムがあります。

豊稔池堰堤は高さ30.5m、幅128mもある巨大な石積みのダムの姿は中世ヨーロッパの古城を彷彿させます。総貯水量164万³m³を要し下流域に広がる農地のために二級河川^{くにたがわ}柞田川を堰き止め建設された農業用貯水池です。

当時のダムの主力であった重力式堰堤ではなく、マルチプルアーチダムという画期的なスタイルの形式を採用した石造りの豊稔池堰堤は凹型のアーチが力強く独特の雰囲気をかもし出しており、その芸術的美観、構造設計はダム建設に携わる技術者が必ず訪れるといわれるほど、高く評価されています。

マルチプルアーチとはアーチ型の壁面をいくつ

も組み合わせて作る方式のことで、豊稔池堰堤は5個のアーチと六つのバットレスで構成されています。水が規定量を超えると自動的にバットレス内部に取り付けられたサイフォンが洪水吐から水を放出するようにできていて、特に自然の力を利用したこのサイフォンは、ダム構造においてきわめて優れており堰堤から離れた場所に水を飛ばし、ダム自体と地盤への影響を弱める工夫が施されています。

この豊稔池堰堤は昭和5年に3年8カ月という短期間で施工され、しかも農民自らの手で無事故で築られました。平成元年には、長年の老朽化により亀裂や漏水個所が随所に見られ、5年間をかけて平成の大改修と呼ばれる改修工事を行いました。平成9年には国の登録有形文化財に指定されました。



豊稔池の命名

香川県の降水量は全国平均に比べておよそ4割も少なく、水不足を支えるために点在する無数のため池があります。豊稔池もそうしたため池の一つです。大野原町は平野面積に対して山地が少ないことから度重なる干ばつに見舞われるなど香川県の中でも特に渇水に苦しんできました。その名残として、この地方では雨を祈願するため、香川県指定無形民族文化財にも指定されている「田野々雨乞い踊り」が今も継承されています。かつては田野々池と呼ばれていましたが、水不足に苦しむ大野原の農地がこの貯水池によって豊かに稔ることを願ってとの由来によって豊稔池と命名されました。

地域の農業

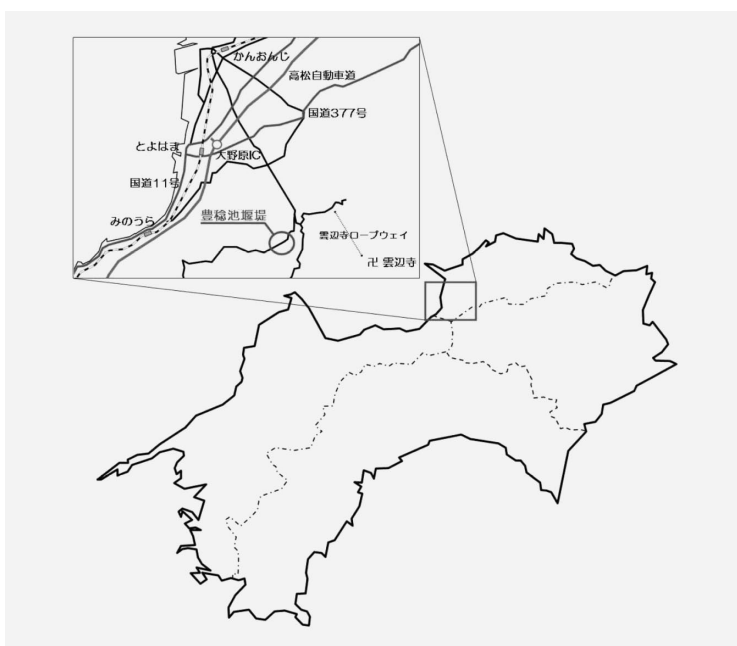
大野原町では、3月末頃までに収穫されるレタ

スなどは東京市場や京阪神市場を中心に全国の市場へ出荷され、香川県の野菜の主産地を形成する西讃地域の中でもその中核をなす地域です。

ユルヌキ

香川県の主要なため池では、毎年「ユルヌキ」の行事が行われます。

この豊稔池でも毎年7月下旬から8月上旬にかけて「ユルヌキ」が行われます。大野原町の盛夏の到来を告げる風物詩となっており、見物客も年々増えています。洪水吐から毎秒4tという水が25mの高さから放出される様は周囲に囲む新緑にとけ込み巨大な滝にも見えるほど勇壮で、石積みのマルチプルアーチダムの優美さを際立たせます。



【交通】

- ・ JR 四国観音寺駅から車で約20分。
- ・ 高松自動車道大野原 IC から車で約15分。

【探訪コース】

- ・ 近くに四国霊場中最高峰に位置する第66番札所「雲辺寺」があります。

【問合せ先】

豊稔池土地改良区
TEL 0875 54 2035
香川県観音寺市大野原町大野原
1368番地 1